

# 一般質問(要旨)



議員 江尻 加那  
日本共産党  
出水市選出  
一括方式

## 東海第二原発の再稼働と 運転延長

**議員** 東海第二原発について知事は「あえて廃炉を言う必要もない」と答えたが、安全と引き換えに国の見返りを求める問題ではなく命の問題である。広域避難計画の実効性や事故の被害想定、県民生活への影響などをどう検証するのか。  
**知事** 実効性を検証するため、十、四市町村の避難計画が策定された段階で避難訓練の実施を検討する。県民生活などへの影響は、被害の仮定の置き方や全国的な課題も多く、現段階で検証は考えていない。



議員 志賀 秀之  
いばらき自民党  
北茨城市選出  
一括方式

## 大好きいばらき県民債の対象事業と 発行総額の柔軟な取り組み

**議員** 県政参加意識の醸成にもつながる、大好きいばらき県民債の発行再開に向け、具体的な効果が見えやすい事業の選定や発行総額の調整について、柔軟な取り組みが必要と考えるが、所見は。  
**総務部長** 今後とも、市場の動向を見ながら県民債の発行再開時期や発行総額について検討する。また、子育て支援や無電柱化の推進など、県民の生活に密接に関係し、関心を引きやすい事業への充当などに柔軟かつ積極的に取り組む。

## 〇〇二歳児保育所待機児童の 解消に向けた取り組み

**議員** 待機児童の九割を占める〇〇二歳児は育休明け年度途中からの入所が必要である。保育の需要予測を行って〇〇二歳児の保育定員を拡大し、年度途中の入所を保障する支援策を求めるが、所見は。  
**知事** 受け入れ枠を増やすには、保育士配置数などの基準を満たす必要があるが、保育士の確保自体が困難な地域があるため、本県における年度途中からの入所促進について有効な施策を検討していく。  
(ほかに、国保の問題点、教員の勤務時間の実態把握なども質問)



0~2歳児の入所を保障するさらなる支援策を

## 地域包括ケアシステムの推進

**議員** 北茨城市のワンストップ相談窓口「元氣ステーション」を例に、地域包括ケアシステム推進のため、市町村をどう支援するのか。  
**保健福祉部長** ワンストップ型の相談窓口を設置し複合的な課題を抱える事例に適切に対応している。北茨城市などの事例の情報共有も図りながら、市町村の相談体制の充実に向けた支援を行っていく。  
(ほかに、後発医薬品普及へのさらなる取り組み、被災中小企業に対するグループ補助後の支援なども質問)



県民債を利用して無電柱化の推進を



議員 戸井田 和之  
いばらき自民党  
石岡市選出  
一括方式

## 知事の秘書などの長時間勤務

**議員** 職員の時間外勤務の縮減に取り組む中、知事の最も身近なスタッフである秘書や運転手は、深夜にまで及ぶ時間外勤務を行っている。知事の所見は。  
**知事** 休日や夕方からのさまざまな行事や会合などへ随行してもらうほか、危機管理などにすぐに対応できるよう秘書に身近で待機してもらおうとすることが多く、結果として、時間外勤務が多くなった。今後は、秘書の増員や交代勤務を頻繁に行うなど、改善をしていく。

## 命をつなぐ臓器移植の取り組み

**議員** 臓器移植への理解を深める普及啓発や移植に携わるコーディネーターの組織づくりなど医療機関の体制づくりを充実すべきと考えるが、今後、どう取り組むのか。  
**保健福祉部長** 若者の学ぶ機会を充実し、広く県民に臓器提供への意思表示を呼び掛けていく。また、脳死下での臓器提供ができる病院を増やせるよう医療者を対象とした移植医療研修会の開催など、病院の体制整備の動機付けに努める。  
(ほかに、子どもの読書の大切さ、女性の活躍推進なども質問)



移植医療研修会の様子



議員 村上 典男  
いばらき自民党  
笠間市選出  
一括方式

## 県職員の労働環境

**議員** 知事就任以降の約二十四年間で、知事が所管する知事部局と病院局において、三十一人に上る職員の尊い命が、自殺という不幸な形で失われているが、再発防止に向け、どう取り組んでいくのか。  
**知事** 職員数に占める自殺者数の割合は、他県などの平均と同程度である。再発防止を図るため、時間外勤務縮減や、職員間のコミュニケーションの活性化、職員のメンタルヘルス対策の取り組みを着実に推進していく。

## 茨城中央工業団地への企業誘致

**議員** 茨城中央工業団地への企業誘致を加速させるには、安価な電力の供給体制の構築を含め、思い切った手だてが必要である。今後の誘致推進に向けた考えは。  
**知事** 安価な電力の供給体制については、状況に応じ、立地企業とも相談しながら検討したい。また、あらゆる機会に当該地を積極的にアピールするほか、地元と連携し全力で企業誘致に取り組んでいく。  
(ほかに、知事の退職手当と多額の責任、子宮頸がん予防ワクチン被害者の救済なども質問)



茨城中央工業団地(笠間地区)

## 第2回定例会の主な日程

平成29年第2回定例会は、以下の会期日程で開催されました。

- 6月6日(火) 本会 議 (開会、知事提出議案説明)
- 6月9日(金) 本会 議 (一般質問・質疑)
- 12日(月)
- 13日(火)
- 6月15日(木) 常任委員会
- 6月19日(月) 国体・障害者スポーツ大会推進調査特別委員会
- 6月20日(火) 環境保全対策調査特別委員会
- 6月21日(水) 本会 議 (委員長報告、採決、閉会)

## 質問方式について

議員は次のいずれかの質問方式を選択できます。  
○一括方式 質問項目全てについて一括して質問し、一括して答弁を求める。  
○分割方式 質問項目ごとに分割して質問し、その都度、答弁を求める。

## 今定例会で可決された議案

- ◆議員提出
  - 日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターにおける被ばく事故に係る被害への対応及び原子力安全対策の充実・強化を求める意見書
  - 人事委員会委員の選任について
  - 収用委員会委員の任命について
  - 収用委員会予備委員の任命について
  - ◆その他
    - 県有財産の売却処分について
- ◆知事提出
  - ◆条例の制定
    - りんりんスクエア土浦の設置及び管理に関する条例
    - 茨城県海外対象医師修学研修資金貸与条例
    - ◆条例の一部改正
      - 茨城県県税条例の一部を改正する条例
      - 地方自治法第二百六条の規定に基づく審査請求に関する諸問題について
      - ◆報告
        - 地方自治法第七十九条第一項の規定に基づく専決処分について

## 可決された意見書

○日本原子力研究開発機構大洗研究開発センターにおける被ばく事故に係る被害への対応及び原子力安全対策の充実・強化を求める意見書